

2013年 | 北九州市立大学 | 10大ニュース

2013. **3**
march

北九州まなびとESDステーションがオープン
北九州の全10大学と地域社会が連携し、実践活動を通じて将来を担う人材育成に取り組む活動拠点として、小倉北区魚町にオープン。



4
april

副学長が新体制へ
松尾太加志教授と漆原朗子教授が新たに副学長に任命され、再任の梶原昭博教授を含めた新体制となる。

**平成24年度卒業生の就職決定率が全国平均を上回る
地域創生学群初の卒業生の就職決定率は100%**

平成24年度学部卒業生の就職決定率が95.0%となり、全国平均の93.9%を上回る。また、地域創生学群は初めて卒業生を輩出し、その就職決定率は100%。

「Kitakyushu Global Pioneers」始動

文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に採択されたことを受け、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を目的としたプログラム「Kitakyushu Global Pioneers」が始動。その中の「Start Up Program」には対象学部の1年生の約半数が登録。



「北方・ひびきの連携事業～キャンパス交流Day～」スタート

1学期の週1回、北方キャンパス(文系)とひびきのキャンパス(理系)の学生が、北方キャンパスで相互の授業を受ける取り組みが始まる。

8
august

本学として初めての海外インターンシップを実施
本学の公式プログラムとして、シンガポール・韓国・中国の企業等でインターンシップを実施。

10
october

**北九州市立大学ビジネススクール
サテライトキャンパスが移転**
小倉駅ビル アミュプラザ7階へ移転し、利便性が向上。



[ウインドウガラスデザイン]
本学国際環境工学研究科環境工学専攻 平田進太郎

11
november

**外務省「KAKEHASHI Project」に
採択され、本学学生を北米へ派遣**

北米地域との青少年交流を目的とする当プロジェクトにおいて、本学学生23名が各地の大学や企業等を訪問し、日本の魅力を英語でプレゼンした。

横浜市立大学との「就職支援パートナーシップ制度」をスタート

首都圏での就職を希望する本学の学生が、横浜市立大学でも就職活動の支援を受けられるようになった。

12
december

「北九大魅力発信プロジェクト」が、ひびきのキャンパスでも始動

在学生が本学のPR等を行う当プロジェクトの第2期がスタートし、北方キャンパスに加え、ひびきのキャンパスでも始動。

新たな海外協定校

2013年は、新たに右記の6大学と協定を締結しました。これにより、本学の海外協定校は、11の国・地域の29大学・機関となりました。

締結時期	大学名	所在地
2013. 3月	韓国海洋大学校	韓国 釜山広域市
6月	タマサート大学	タイ バンコク
9月	文藻外語大学	台湾 高雄市
11月	フォート・ルイス大学	アメリカ合衆国 コロラド州 デュランゴ
12月	サラワク大学	マレーシア サラワク州
	ニューカッスル大学	オーストラリア ニューサウスウェールズ州 ニューカッスル

seiran vol.35

青春

未来へ吹きわたる
つよい風となれ

公立大学法人 北九州市立大学 学報

発行日/2014年3月28日 発行元/北九州市立大学広報入試課



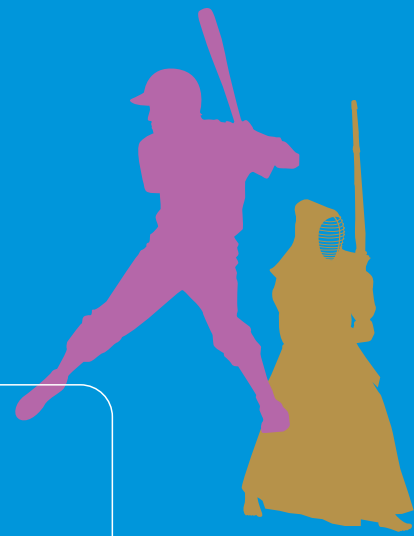
特集1:サークル紹介 特集2:学生表彰

大学院紹介(法学研究科・国際環境工学研究科)

2013年 北九州市立大学10大ニュース

サークル紹介

[北方キャンパス]



■ 体育系 (31団体)

[武道館系]

空手道部
少林寺拳法部
柔道部
剣道部
ボクシング部
重量学部(休部中)
弓道部
合気道部

[体育館系]

バスケットボール部
バドミントン部
バレーボール部
卓球部
ハンドボール部
II部バスケットボール部
II部バドミントン部
フットサル部

[グラウンド系]

サッカー部
陸上競技部
ラグビー部
硬式野球部
軟式野球部
硬式庭球部
ソフトテニス部
ラクロス部

[学外系]

航空部
馬術部(休部中)
ヨット部
ワンダーフォーゲル部(休部中)
サイクリング部
山岳部(休部中)
水泳部

■ その他 (2団体)

応援団
応援団チアリーダー部

■ 文化系 (45団体)

[音楽系]

Jazz研究会K&K
吹奏楽団
ピアノ会
マンドリンクラブ
混声合唱団コール・ユーフォニー
アカペラの森
アコースティックギター部
管弦楽団
軽音楽FLASH
軽音ナイツ
軽音楽WIND FALLS
BREMEN

[展示・発表系]

囲碁・将棋部
映画研究会
演劇研究会
茶道研究会
写真部
美術研究会
放送研究会
落語研究会
漫画研究会
SF研究会
ワークキャンプ
大道芸愛好会
生涯学習研究会学び舎
北九州ボランティアリーダー
映像制作集団ロマンダム
よさこいサークル灯炎
国際協力ボランティアサークルLinc.
広告研究会
都道府県研究会

[学術系]

会計学研究会
現代社会研究会
文芸研究会
古文書研究会
法学会
民俗学研究会
心理学研究会
ラテンアメリカ研究会
パソコン研究会「chair」
模擬国連
ISA



サークルに参加して
キャンパスライフを
さらに楽しくしよう!



■ 空手道部

初心者・経験者・男女問わず大歓迎!
「北九大空手道部」で検索してみてください♪



■ 硬式野球部

神宮大会出場を目標に日々練習に励んでいます。チーム一丸となり勝利を掴み取ります!!



■ サイクリング部

平日2コマと土曜日に練習します。
夏休みには合宿にも行きます!



■ 弓道部

弓道部は現在14名で活動しています。
初心者大歓迎!一緒にがんばりましょう!



■ 軟式野球部

昨年、一昨年は全国大会にも出場し
2位という成績を残しています。



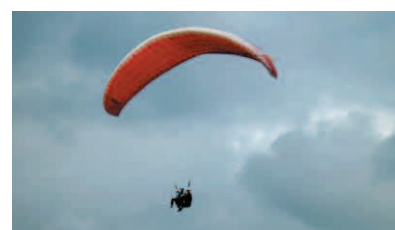
■ 応援団

押忍!僕達は、応援団です。応援団とは、
他が為に全力を尽くす組織です。
団員絶賛大募集です。



■ 合気道部

合気道部は日々楽しく充実した稽古をしています。
興味のある人はとてあえず見学に。



■ 航空部

年数回の合宿でパラグライダー体験を行っています。
未経験の方、ぜひ入部してみませんか?



■ 応援団チアリーダー部

私達は、応援団・チアリーダー部のWARRIORSです!
私達と青春の汗を流しましょう!



■ Jazz研究会K&K

私たちは、定期演奏会や依頼演奏などを通してジャズを楽しんでいます。



■ マンドリンクラブ

マンドリンはイタリアの弦楽器です!
現在約20名で合奏を楽しんでいます。



■ 放送研究会

基本的な活動は主に依頼される司会、MC等のアナウンスです。未経験者も大歓迎!



■ 吹奏楽団

私たちは心に響く音楽を奏でます♪



■ 混声合唱団コール・ユーフォニー

私たちは、年2回の演奏会に向けて週2日程度練習しています。
初心者大歓迎です!!



■ 漫画研究会

絵が描けない人でも大歓迎!
実際、現会長も絵が描けません(汗)



■ ピアノ会

年に2回、演奏会を行います。
みんな仲良く、楽しいサークルです!
一緒にピアノを楽しみませんか?



■ E.S.S.(米英研究会)

友達とワイワイ発音やスピーチ力UPから豪州で日本語教師体験まで! Join us!



■ よさこいサークル灯炎

初心者でも大歓迎です!
興味がある方は、YouTube「灯炎」で検索してみてくださいね!

サークル紹介

[ひびきのキャンパス]



■ 体育系(12団体)

サッカーサークル
自動車部
水泳サークル
卓球サークル
ダンスサークル
テニスサークル

バスケットボールサークル
バドミントンサークル
バレーボールサークル
フットサルサークル
野球サークル
陸上サークル(HRC)

■ 文化系(7団体)

学生フォーミュラサークル
ギターサークル
軽音楽サークル
芸術サークル
茶道サークル
写真サークル
ブラスバンドサークル



■ サッカーサークル

毎週グラウンドで練習を行っています。大会に参加することもあり、学年関係なく楽しく活動しています。



■ 陸上サークル(HRC)

HRCでは、週に2回学校周辺を走っています。軽く体を動かしたい人も本格的に走りたい人も大歓迎です。



■ 軽音楽サークル

笑いあり! 涙あり(?)ライブあり! 他大との交流あり! 楽器経験や学年、学校の壁さえも越えて楽しめます♥



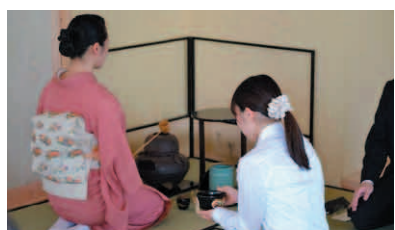
■ フットサルサークル

初心者・経験者を男女ともに募集中です! みんなで楽しくフットサルしましょう!



■ バドミントンサークル

月・水・土の週3で活動中。男女問わず、初心者、経験者大歓迎! 大学生活を充実させたいなら是非ここへ!!



■ 茶道サークル

週に一度活動しています。茶道に興味のある人、わびさびを感じたい人はぜひ遊びに来て下さい! 初心者歓迎!!



■ 卓球サークル

毎週水曜に18時から体育館で活動しています。経験、男女問わず大歓迎です。一緒に卓球を楽しみましょう!



■ 学生フォーミュラサークル

フォーミュラカーのコンセプトから製作に至るまで学生主体で行っています。一緒に車両を造ってみませんか?



■ 写真サークル

写真サークルでは、様々な場所に写真撮影に行きます。写真に興味がある人、旅行好きな人は写真サークルへ!

より深く・卓越した専門性を有するスペシャリストへ

北九州市立大学大学院 [Part2]

北九州市立大学大学院には、社会人も働きながら学べる4研究科があります。Part2では「法学研究科」及び「国際環境工学研究科」を紹介します。

【法学研究科】

Law

法学研究科は希望する専門分野に応じて法律学系と政策科学系を設置。それぞれに研究者コースと専修コースがあります。高度化・複雑化する地域社会が抱える多様な法的・政策的課題に柔軟に対応できる高度な研究能力を備えた人材、専門的知識を持ち適切な問題解決能力を備えた人材、地域貢献を目指す高度で知的素養のある社会人を養成しています。



法学部 教授
さかもと たかゆき
坂本 隆幸 先生

本研究科では昨年度から2つの履修コース制を導入しています。研究者養成を目的とする研究者コースと、学部卒業後間もない学生及び経験豊富な社会人学生との相互啓発を図るために、従来のアドバンスコースと社会人コースを専修コースに統合しました。実際に入ってしまうと、それぞれ学生の知識や努力に応じて教えていきますので、指導にあたって特に差異はありません。

私の専門分野は、政策科学系の比較政策論です。私が大学生だった80年代当時は、民主主義の国が一部の国に限られており、軍事独裁国家や一党独裁国家による理不尽な政治が横行していました。そんな時代のなか、どうすればより良い社会になるのだろうかと考え、比較政治や国際関係論を学びました。現在は、多くの人が幸せに過ごせるような社会にするにはどのような政策を行うべきかを探ろうと、先進国の政策を中心に研究しています。

一言で政策といっても教育、雇用、労働、家族支援など分野は多岐に渡ります。政治・経済との重なりも大きいので横断的な知識が必要で、時代の流れや国際化に伴い求められる政策も変化していきます。本研究科では研究課題を学生が自由に選べますが、私は参考文献についての助言や、論点がぶれないよう軌道修正を行うなど、それぞれが研究を深め、より正しい答えに導くための指導を行っています。

学生には全力投球で勉強してほしい。そして学んだことを、社会の様々な分野で活かしてくれることを期待しています。



法学研究科 法律学専攻
おほら かつとし
大原 健聖 さん

「民主主義より優れた政治体制があるのではないかと。それを知るには、民主主義をさらに学ぶべきだ」。そう考え、別の大学出身ではありましたが、当時民主主義の研究をしている先生がいらつやつた本学への進学を決めました。その先生は既に退官されましたが、新しい政治体制についての研究は自身のテーマとして残しつつ、首相公選制やリーダーシップなど、興味のある分野に今は日本政治の研究をしています。もともと私は物心がついた頃から、橋本氏や小泉氏といった日本の総理大臣に関心がありましたので、近年の総理大臣がいかにしてリーダーシップを発揮できるようになったのかや、彼らが政策を進めていく上での政治的手腕やコミュニケーション術などについて、様々な角度から研究しています。こういった政治の世界のみならず、組織経営にも役立つと思います。私は今春から民間企業に就職しますが、企業における企画や管理など、今後の実社会のいる場面で大いに活かしたいと考えています。

法学研究科では、自らが自由に研究領域を決めることができます。興味のある対象だからこそ突き詰めたいという意識が高くなりモチベーションも上がりますし、学部の頃と比べて入ってくる知識が明らかに違うので、大変刺激になります。加えて指導教員とは「この政策はこうだね」「あの外国の大統領はどうだったね」といった会話のなかから学ぶことも多く、研究とはいってもとても楽しいものです。修士の2年間は研究分野の知識や視点のみならず、物事の考え方や捉え方も広がった貴重な時間でした。

【国際環境工学研究科】

Environmental Engineering

国際環境工学研究科は、環境に配慮した持続可能で豊かな産業都市を目指し、優れた人材の育成と世界水準の技術開発を推進しています。「環境システム」「環境工学」および「情報工学」の3専攻を置き、21世紀に求められる高い能力を身に付けた高度専門職業人及び研究者を養成しています。



国際環境工学部 准教授
もり た ゆき
森田 洋 先生

私が指導する分野は主に「微生物」と「食品工学」です。いわゆる「良い」微生物はパンや酒などの発酵に利用し、食中毒菌などの有害な微生物はどうしたら退治することができるのか、良い面と悪い面を幅広く捉えながら研究を進めています。微生物の機能で科学的に立証されていないこともまだまだ多く、深く追求すればするほど分からないことがたくさん出てくるのが、微生物の世界の面白いところです。莫大な微生物の中から、役に立つ微生物を見つけることは地道でかなりの手間がかかり、苦労もありますが、必ず目的の機能をもつものが存在する。つまり「微生物は裏切らない」というのも興味深いところです。また、私が20年前から力を入れてきた「リゾープス(クモノスカビ)」というカビの研究を学生につなぎ、今年に入って大学ブランドの第1号となる日本酒「ひびきのの杜」の販売まで実現することができました。今後も「地域貢献」の役割をも担う市立大学として、生活や社会に役立つ製品のブランド化を進め、研究の成果を広く市民に向けてPRしていきたいと考えています。

学生に対する指導方針は、極端に言うところ「教えずに教えること」。私の教えたことだけを鵜呑みにして学ぶだけでは、何の知恵も使わない指示待ち人間になってしまいがちです。学生には大きなテーマを与え、その中で自由に研究を進めてもらった方が、自らしっかり考えてどんどん成長していきます。分からないことがあれば教員はもちろん、先輩達などに尋ねたり、自分の知識を先輩に伝えたりしながらコミュニケーション能力を身につけて、未来を切り拓く力を研究室で学んで欲しいと願っています。



国際環境工学研究科
博士前期課程2年
さとう ゆかえ
佐藤 由可衣 さん

中学の頃から理科が大好き。森田先生との出会いは、高校生の時に本学のオープンキャンパスで受けた公開講座でした。そして、「研究者として勉強していくなら、人や社会の役に立つようなことを成し遂げなさい」というお話に感銘を受け、森田先生に憧れて本学へ入学しました。希望どおり森田先生の研究室へ入ることができ、学部4年次から麹菌の研究を続けています。

日本酒は、蒸したお米に麹菌を撒き、温度と湿度を厳密に管理しながら作ります。日本酒の麹に使われるコウジカビと、東アジアで麹菌として用いられるリゾープス菌を混合培養して麹を作り、それを元に清酒を作る実験を重ねて従来のものとどこが違うのか、といった醸造特性や麹自体の酵素生産性を研究してきました。当初は小さいタッパーで、様々な麹の組み合わせや条件を変えて地道に作っていましたが、日本酒を醸造するにはスケールアップする必要があります。そのため小さい実験で成功した培養麹だけを用いて、大きな木箱で作るなど工夫を重ねました。自分なりに模索しながら実行する過程は大変ですが、とても楽しいものでした。

清酒醸造の研究は、小倉南区の無法松酒造さんで約3ヶ月間の修業をさせて頂くことから始まりました。研究のみならず、企業で原料の仕入れから製造、容器に詰めて販売するというマーケティングの一連の流れも経験できました。また、杜社さんから奥深いお話を伺い、貴重な時間を過ごすことができました。

卒業後は、麹を作る元となる「種麹」を製造する鹿児島県の企業に研究職で入ります。これからも麹を応用させる研究に邁進していきたいと思っています。

インフォメーション

ひびきのの杜 「大学オリジナル麹」×「地元酒造会社」×「市内産酒造用米」 本学初のブランド酒「ひびきのの杜」、あっという間に完売!

国際環境工学研究科2年の佐藤さんを中心に、森田研究室の学生達が開発した日本酒「ひびきのの杜」(720ml 1,260円)。一般的な日本酒に使われる黄麹カビと、中国で紹興酒等の製造に用いられるクモノスカビを混合培養することにより、新しい麹を創出しました(特許出願中)。小倉南区の無法松酒造で、北九州市内産の酒造用米(夢一献)を使用し醸造。キャンパスがある「ひびきの」から命名し、ラベルは建築デザインコース修士1年の坂本華奈さんがデザインするなど、大学と地元の力を結集して誕生した銘酒です。



平成25年度 学生表彰について

本学では平成17年度より、特に優れた業績をあげた学生を対象に学生表彰を実施しています。これは、優秀な業績をあげた者を表彰することで学生にインセンティブを与え、学内に活力を与えようとする試みであり、ひいては地域社会の活力となるようにと願い、創設しました。

平成25年度は、社会活動、課外活動、その他の分野で優秀な成績を収めた、以下の学生を表彰しました。



表彰対象者
佐藤 由可衣
(国際環境工学研究科 環境システム専攻 2年)

表彰対象者
【個人】

業績・成績

学部の卒業論文から修士論文までの3年間をかけて取り組んだ、新たな日本酒の醸造開発により本学初の大学ブランド商品「ひびきのの杜」を創出。メディアから密着取材を受けるなど、社会的な関心を集めました。



佐藤由可衣さん(写真左から2番目)

表彰対象者
**北九州市立桜丘小学校
スクールボランティア**

表彰対象者
【団体】

業績・成績

平成21年度から桜丘小学校のスクールボランティアとして、毎年20人程度の学生が年間100日を超える学習支援活動に取り組んでいます。この活動が評価され、桜丘小学校は『平成25年度 優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰』を受けました。



代表 山崎万里絵さん(写真中央)

表彰対象者
**北九州市立大学
軟式野球部**

表彰対象者
【団体】

業績・成績

第36回全日本学生軟式野球選手権大会で準優勝しました。



代表 山本彰一さん(写真左)、照屋晋さん(写真右)

2013年 主な表彰(外部団体主催分)

本学学生の研究や活動が評価され、様々な団体から表彰されました。

受賞日	本学関係者・主催	内容
2013. 5.18	佐藤 太平・藤山 淳史 (国際環境工学研究科環境システム専攻) 松本 亨 (国際環境工学部環境生命工学科教授) 主催 廃棄物資源循環学会九州支部	『平成25年度廃棄物資源循環学会九州支部 研究ポスター発表会 優秀ポスター賞』 題目「太陽光パネルの廃棄量の将来推計と再資源化のための最適輸送計画」で受賞。
2013. 5.25	坂本 知也 (国際環境工学研究科環境工学専攻) 主催 一般社団法人 日本建築学会九州支部	『建築九州賞(研究新人賞)』 発表題目「オフィスビルにおける自然換気及び機械空調の併用システムに関する研究(その12) 数値シミュレーションによる春季運用時の省エネ効果の検証」で受賞。
2013. 8.2	平川 慧亮 (国際環境工学研究科環境工学専攻) 主催 日本建築学会	『2013年度日本建築学会設計競技 支部入選』 「新しい建築は境界を乗り越えようとするところに現象する」をテーマに、小学生児童の放課後の居場所となるような学童保育の在り方を提案して受賞。
2013. 9.28	盧 現軍 (国際環境工学研究科環境システム専攻) 松本 亨 (国際環境工学部環境生命工学科教授) 主催 日本環境共生学会	『平成25年度日本環境共生学会 奨励賞』 中国における使用済携帯電話のフローを推計し、フローに関わる制度と参画者の関係を明らかにすることで、使用済携帯電話の回収・リサイクルに存在する問題を明らかにした。この賞は、将来性を十分有すると判断できる環境共生に関する萌芽的論文の著者である会員が表彰され、毎年1名程度選出される。
2013. 11.1	河本 恵美 (社会システム研究科地域社会システム専攻) 主催 海上保安庁	『海上保安庁長官賞』 受賞者は、海上保安庁関門海峡海上交通センターで「海事英語(世界の海上保安官が相互の連絡に使用する特殊な英語)」の研修を担当しているが、創意工夫による管制官の英会話研修の確立、マニュアルの英文見直し作業への協力に加え、修士論文「『海事英語従事者の英語の分析』-関門海峡における海上管制官の海事英語-」が英語研修に成果を上げたことが評価されたもの。
2013. 11.3	山田 幸太・Rendy Perdana (国際環境工学研究科環境工学専攻) Rakhmat Fitranto Aditra (JASSO留学生交流支援制度 短期受入留学生) 主催 まちづくり研究セミナー事務局 (社)日本建築家協会 九州支部北福岡会	『JIA日韓ワークショップ 前田賞(最優秀賞)』 課題「22世紀の環境から創造する新たな未来」について、100年後には、様々な形態や色彩を作り出す建築素材「ピクセル」が開発されることを想定し、自由に形態が変わる建築や自然環境の変化に対応する未来のアーケード「ピクセルアンブレラ」を提案した。
2013. 12.11	内村 友希・田中 宏幸・東郷 憲吾・上蘭 竜成 (経済学部経営情報学科) 主催 大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 実行委員会	『第13回大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 優秀賞』 ビジネス名「3Dプリント技術のC2C事業～アイデアを形に、感動をプリントする～」で受賞。当コンテストでは、過去(平成20年度)にひびきのキャンパスの大学院生がグランプリを受賞したが、北方キャンパスでは初めての快挙。
2013. 12.11	越智 啓介・河村 佳祐 (文学部人間関係学科) 主催 公益財団法人 芳賀教育文化振興会	『第20回北九州ボランティア顕彰式 個人部門 特別表彰』 東日本大震災の被災地、宮城県南三陸町における復興支援活動が評価されたもの。
2013. 12.14	徳王 成海 (国際環境工学部機械システム工学科) 主催 公益社団法人 精密工学会九州支部	『精密工学会九州支部 第14回学生研究発表会 ベストプレゼンテーション賞』 口頭発表「極小径光ファイバプローブを用いた微細三次元形状精度測定システムの開発」で受賞。
2013. 12.21	松井 美樹・袁星 友浩 (国際環境工学部機械システム工学科) 龍 有二 (国際環境工学部長) 辻井 洋行 (基盤教育センターひびきの分室准教授) 高木 克昭 (産業界ニーズ事業特任准教授) 主催 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業	『平成25年度学生代表学修成果発表会 最優秀賞』 第3セクター事業であるサンアークTOTO株式会社にて、北九州市立大学、九州女子大学、北九州工業高等専門学校、有明工業高等専門学校の4校8名で2チームを編成し、産学合同インターンシップを実施。工場内における生産工程での課題発見から解決、提案までを学生が2週間で練り上げるという「課題解決型インターンシップ」で受賞。